



今日の一言

5. 9. 28 校長 瀧上 卓也



これからの担い手



2学期に入ってから約4週間、長崎大学教育学部の3年生 山口 杏華 先生が、本校で教育実習に取り組みました。滑石小学校の卒業生です。長崎大学の学生さんは、ほとんど附属小学校で教育実習を行うのですが、杏華先生は公立小学校での教育実習を希望し、母校である滑石小学校で実施したのです。

実習クラスは5年1組でした。担当教員は 森 美智子 先生。みっちり鍛えられ、学びを深めたことでしょう。

日に日に森先生と並ぶ担任のような存在になっていくことが伝わってきました。また、他の先生方にも、講話や示範授業でお世話になり、学校現場とはどんなものか、理解できたのではないでしょうか。

「教職員のなり手不足・・・」こんな言葉を耳にしたことはありませんか。児童への指導、保護者への対応、超過勤務等業務の多忙さからでしょうか、いつの間にか「先生の仕事は、ブラックだ！！」と言われるようになり、本当に希望者が減少しています。「先生が足りない日！！」が現実味を帯びてきているのです。

教育実習の初日、杏華先生は「いつも笑顔いっぱいの先生になりたいです。」と力強く言ってくれました。本当に嬉しかったです。「先生」という仕事は、確かに大変なことはたくさんあるけれど、毎日がドラマいっぱいで、子どもと一緒に成長出来て、頑張った分だけ「ありがとう」がもらえて、楽しくてやりがいのある仕事です。

これからの長崎県の教育の担い手、山口 杏華 先生 とは、もしかしたらどこかの学校で同僚になっているかもしれませんね。（瀧上63歳退職+再任用2年）その時は力を合わせて「先生も子どもたちも、笑顔いっぱいの学校！！」にしていきたいと思います。その日が来るのを期待して、瀧上も頑張ります。

<今日の一句>

悩んだら

癒してくれる

子どもたち 卓也

